

# 第4次和歌山市地域福祉計画策定に向けて

資料3-1

## 1. 統計データから

- 人口減少と少子高齢化が進み、小世帯・ひとり暮らし高齢者が増加している。
- 要介護認定者、障害者手帳等の所持者数、生活保護世帯数も数年前と比べて増加している。
- 児童虐待・家庭内暴力（DV）相談件数も年度ごとにばらつきはあるが増加している。
- 市登録のボランティア登録件数や和歌山市に主たる事務所を置くNPO法人数は5年前に比べて増加している。

## 2. アンケートデータから（平成29年度の数字）

- 身近に相談したり、助けてもらえる人がいると感じている人は86.2%、いないと感じている人は12.2%となっている。
- 地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動が「非常に重要」または「重要」と感じている人は55%で、前年度に比べ増加している。また同項目に対し「非常に満足」及び「満足」と感じている人（以下「満足と感じている人」と言う。）は7.5%、「不満」及び「非常に不満」と感じている人（以下「不満と感じている人」と言う。）は24.8%で、前年度に比べ満足度が5ポイント以上減少している。
- NPOやボランティアなどへの市民活動への参加の機会に対し満足と感じている人は8%、不満と感じている人は6.5%、どちらともいえないと感じている人は75.7%となっている。
- 地域住民の助け合い活動に対し満足と感じている人は12.4%、不満と感じている人は8.7%、どちらともいえないと感じている人は69.7%となっている。
- 水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っている人は53.8%で、増加傾向にある。同項目を年代別で見ると10代が35.7%、20代が34.4%と特に割合が低く、70代が62.2%と最も割合が高い。

## 3. 第4次和歌山市地域福祉計画策定に向けて

今後も和歌山市では少子高齢化が進み福祉ニーズが多様化することが予想され、地域福祉の推進が益々重要になってくる。地域で活動されている団体は、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、婦人会、子ども会など多くの団体があるが、活動内容知らない人も多く、参加するきっかけがないから参加しないという人も多い。第4次和歌山市地域福祉計画の策定においては、広く市民を対象としたアンケートやNPO・ボランティア団体などの地域で活躍している団体や福祉の相談窓口へのアンケートにとどまらず、福祉の相談窓口の利用者にも意見を聞くことにしている。さらに前回同様児童を対象としたアンケート、福祉施設ヒアリングに加え、各地域で地域福祉を考える（仮称）地域福祉市民会議を開くこととしたい。

## 4. 計画策定に向けての調査等

### (1) 市民意識アンケート調査

【平成25年度】  
・ 市政世論調査の一部（2,000人）



【平成30年度】  
・ 市政世論調査の一部（2,000人）

### (2) アンケート調査

【平成25年度】  
・ 地区社会福祉協議会（42団体）  
・ 単位老人クラブ（318団体）  
・ 民生委員・児童委員（731人）  
・ 単位自治会（1,200団体）  
・ つどいの家（24箇所）  
・ 公民館（42箇所）  
・ NPOボランティア団体（500団体）  
・ 児童意識調査（506人）【H26】



【平成30年度】

- ・ 各地区社会福祉協議会会長（42団体）
- ・ 単位老人クラブ会長（約300団体）
- ・ 民生委員・児童委員（約800人）
- ・ 公民館長（42団体）
- ・ 婦人会（約18団体）
- ・ つどいの家（約20団体）
- ・ 地域包括支援センター（15箇所）
- ・ 相談支援事業所（6箇所）
- ・ 地域子育て支援拠点施設（13箇所）
- ・ NPO・ボランティア団体（約500団体）

団体・相談窓口

- ・ 地域包括支援センター利用者（約150人）
- ・ つどいの家利用者（約60人）
- ・ 相談支援事業所利用者（約60人）
- ・ 地域子育て支援拠点施設利用者（約200人）

利用者

- ・ 小学生アンケート（約600人）

(3) 各地域での会議

【平成25年度】

- ・中学校区単位（18ブロック）の会議（18箇所）
- ※チラシ、ポスターを配布して広く市民の参加をよびかける



【平成30年度】

- ・地区単位（10ブロック）の会議（10箇所）
- ※チラシ、ポスターを配布して広く市民の参加をよびかける

(4) 福祉施設ヒアリング

【平成25年度】

- ・福祉施設ヒアリング（9箇所）



【平成30年度】

- ・福祉施設ヒアリング（9箇所）
- ※事前アンケート実施し、課題等を把握したうえでヒアリング

# 全体スケジュール（案）

	平成30年度												平成31年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
計画全体	基礎データの収集												計画素案作成			計画案作成									計画確定
和歌山市地域福祉計画推進協議会				○								○		○					○				○		
① 世帯調査 (2,000人)						調査		分析																	
地域福祉団体・福祉の相談窓口 アンケート調査	② 地区社協 (42団体)					調査		分析																	
	③ 単位老人クラブ (約300団体)					調査		分析																	
	④ 民生委員・児童委員 (約800人)					調査		分析																	
	⑤ 公民館長 (42団体)					調査		分析																	
	⑥ 婦人会 (約18団体)					調査		分析																	
	⑦ つどいの家 (約20団体)					調査		分析																	
	⑧ 地域包括支援センター (15箇所)					調査		分析																	
	⑨ 相談支援事業所 (6箇所)					調査		分析																	
	⑩ 地域子育て支援拠点施設 (13箇所)					調査		分析																	
	⑪ NPO・ボランティア団体 (約500団体)					調査		分析																	
	地域の利用者居場所・福祉の相談窓口 アンケート調査	⑫ 地域包括支援センター利用者 (約150人)					調査		分析																
⑬ つどいの家利用者 (約60人)						調査		分析																	
⑭ 相談支援事業所利用者 (約60人)						調査		分析																	
⑮ 地域子育て支援拠点施設利用者 (約200人)						調査		分析																	
(仮称) 地域福祉市民会議 (市内10箇所×1回)							市民会議																		
福祉施設ヒアリング (9施設)							調査・分析																		
⑯ 小学生アンケート (約600人)							調査		分析																
関係課等へのヒアリング																					調査・分析				
地域福祉団体等への情報収集 (約10団体)																					調査・分析				